8月9日，大阪市立自然史博物館の会議室で自然保護教育セミナーが開かれました。このセミナーは，一昨年，大阪府自然保護課の依頼で，日本自然保護協会関西支部の手で作られた「大阪の自然とわたしたち」（大阪府自然保護読本）を使い，学校教育の中で，どのようにして自然保護教育をすすめることができるかを考えてみようというもの。実際に学校の授業で使っていただいた次の三人の小学校の先生方から子供達の反応等を話していただきました。

竹田裕子先生　（富田林市立新堂小学校）
岡田恵子先生　（守口市立春日小学校）
藤原登志子先生　（吹田市立竹見台小学校）

各学校は，大阪府下の，農村部，都市部，千里ニュータウンと，その立地条件が異なります。先生方のお話しでは，やはり住んでいる環境によって，子供達が興味を持っている内容には差が見られるようでしたが，各校とも，個々のページ，また絵や写真は，おもしろく見ていても，全体の流れはなかなか子供には理解されていない，しかし，紙の再生やゴミの問題などを，身近な問題として関心を持ってくれる子供は多い，ということでした。参加者の討論では，読本の内容についての意見のほか，どうすれば，自然を大切にする必要があるということを子供にわかってもらうことができるか，また，授業の中で，どうとりあげていけばいいか，どんな教材が効果があるか，などが話し合われました。

参加者は次のとおり。

藤原登志子・竹田裕子・岡田恵子・久世源太郎・池辺展生・朝日　稔・河合敏雄・千地万造・戸田耿介・布谷知夫・山西良平・布谷清子

なお，「大阪の自然とわたしたち」はまだ残部がありますので，御希望の方は，下記へお申し込み下さい。

日本自然保護協会関西支部
大阪市東住吉区東長居町　大阪市立自然史博物館館長研究室気付　送料共　1200円

### C　調査研究活動

調査研究事業として，本年度は，下記のテーマがすでに決まっていますが，それぞれのテーマ毎に研究責任者を決め，チームをつくって研究をはじめることになりました。

1．二次林とその環境維持機構の評価と保全に関する研究　（責任者）吉良竜夫
（連絡先）大阪市住吉区杉本町　大阪市立大学理学部生物学教室　電話06—692—1231

2．社寺林の分布・実態および保全に関する研究
（責任者）菅沼孝之
（連絡先）奈良市北魚屋西町　奈良女子大学生物学教室　電話0742—23—1131

3．近畿地方における自然破壊の進行とその指標生物に関する研究
（責任者）堀田　満　　日浦　勇
（連絡先）1 京都市左京区吉田二本松町　京都大学教養部生物学教室　電話075—751—2111
2 大阪市東住吉区東長居町長居公園　大阪市立自然史博物館　電話06—697—6221

### 原稿募集についてのお願い

会員の皆様からの投稿をお待ちしております。種類は下記のとおりです。　（原稿用紙は400字詰横書）

1．原著論文及び論説
イ．原稿用紙50枚以内（図表を含めて刷上り10ページ）
ロ．表題・著者名は，和・欧両文で記して下さい。
ハ．別刷は100部まで無料。それを越える場合には希望部数をお知らせ下さい。

2．短　報
イ．原稿用紙10枚以内
ロ．別刷は100部まで無料。それを越える場合には希望部数をお知らせ下さい。

3．自然保護ニュース
各地の自然保護に関するニュースを原稿用紙5枚以内

4．提言・随想　　原稿用紙2枚～3枚

5．書　評　　原稿用紙2枚～3枚

### 業績番号についてのお願い

本機構では，次のものについて原則として発表先を問わず業績番号をつけることにしましたので御協力下さい。

1．本機構が事業として行った調査研究成果
2．本機構が助成金を交付した調査研究成果
3．会誌（会報および年報），その他ＫＯＮＣ出版物に掲載した調査研究論文
4．上記研究から派生して得られた成果で，研究者が業績番号を付した方が良いと判断されたもの。

本機構の出版物リスト以外に投稿された場合の業績番号の入れる位置は，各出版物の規定に従って下さい。ただし，和・欧文とも下記の表現をお使い下さい。

関西自然保護機構業績第＿号
Contribution from Kansai Organization for Nature Conservation, no.＿＿

番号は，その都度，資料委員会にお問合せ下さい。

**関西自然保護機構会報　No. 1**

編集発行人　関西自然保護機構

編集委員　千地万造・石田志朗・渡辺弘之・堀　道雄・布谷知夫・山西良平

大阪市北区西天満4丁目10—7　書協ビル内　電話06—364—2422　郵便番号530　振替口座・大阪16679